

# 9年間で育てる志木の未来

## 志木市の小中一貫教育

市では、令和7年度からすべての中学校区で小中一貫教育を導入し、小学校から中学校までの9年間を見通した教育を推進しています。

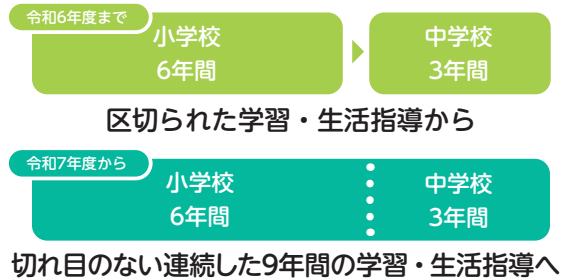
今月は、小中一貫教育の概要や現場に立つ先生たちの声、令和9年度に開校する義務教育学校について紹介します。

問合せ 学校教育課 ☎048 (456) 5367

### 9年間を見通した小中一貫教育

小中一貫教育とは、これまで小学校6年間と中学校3年間に区切られていた義務教育期間を9年間の切れ目のない連続した期間と捉え、9年間を通じたカリキュラムに基づきながら学習・生活指導を行う教育です。

小・中学校の教職員と家庭・地域が「目指す児童生徒像」を共有し、連携・協力しながら義務教育全体の質を向上させることで「次代を担うたくましい志木っ子」を育てます。

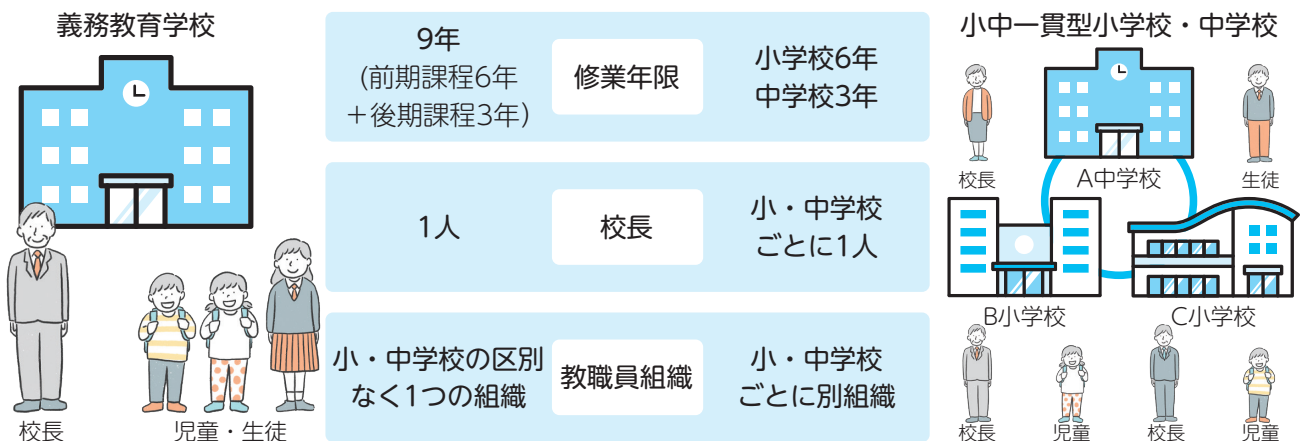


### 小中一貫教育の設置形態

小中一貫教育を推進する学校の設置形態は「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」の2つがあります。義務教育学校は、1人の校長のもと、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保したカリキュラムを編成・実施する学校です。

小中一貫型小学校・中学校は、既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま、義務教育学校に準じた形で9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保したカリキュラムを編成・実施する学校です。

市では、令和7年度に市内すべての中学校区を小中一貫型小学校・中学校とするとともに、志木第二中学校区の3校は令和9年度、新たに1つの義務教育学校として開校します。



## ✓ 各中学校区の学園名

各中学校区の教育目標や目指す児童生徒像の実現に向けて、一体的にマネジメントする組織（中学校区）の学園名（通称）を定めています。なお、学園名は、各中学校区の総称であり、各学校名は従来どおりとなります。

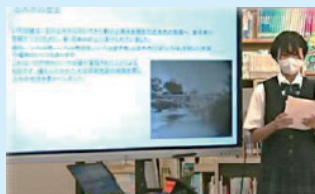
学園名（中学校区）	学校名
いろはさくら学園 （志木中学校区）	志木小学校 志木第三小学校 志木中学校
志木の森学園 （志木第二中学校区）	志木第二小学校 志木第四小学校 志木第二中学校
宗岡みらい学園 （宗岡中学校区）	宗岡第二小学校 宗岡第四小学校 宗岡中学校
宗岡せせらぎ学園 （宗岡第二中学校区）	宗岡小学校 宗岡第三小学校 宗岡第二中学校

### 学園名決定までの取り組みを一部紹介

宗岡第二中学校区では、令和5年度に小学校2校の児童から学園名とその思いを募集しました。

宗岡第二中学校生徒会は、応募のあった391点の学園名から4つの候補を3校合同学校運営協議会に提案し、学園名候補に定められた思いなどをプレゼンテーションしました。

その結果を踏まえ、学園名を「宗岡せせらぎ学園」に決定しました。



◀ 学園名候補に定められた思いをプレゼンテーションする生徒

## ✓ 各学園で実施している取り組み

### 児童生徒の交流

宗岡みらい学園では、3校の児童会運営委員会、生徒会が中心となって、学園生活について協議する「小中サミット」を定期的で開催しています。昨年度は「シンボルキャラクターづくりを考えよう」というテーマのもと、児童生徒がアイデアを共有し、話し合いながら、シンボルキャラクターの作成に取り組みました。

志木の森学園では、小学6年生が中学校の部活動を体験できる「小学生部活動体験」を実施しました。中学生と部活動を通して交流とすることで中学校進学後の学校生活にスムーズに馴染めるようにしています。



### 教職員の連携

各学園の教職員が集まり、子どもたちの発達の段階にあわせ、どのような支援をすることで「小・中学校の学びがつながるのか」という視点で研修会を定期的実施しています。

また、小・中学校の教職員が互いの授業や子どもの様子を共有する取り組みも行っています。

小学校で育てた学びの力を中学校でどのように発展させるか、中学校で求められる力を見通して、小学校で大切にしている学びは何かをともに考え、9年間を見通した教育活動を推進しています。



## ✓ 小・中学校における乗り入れ指導の充実

乗り入れ指導とは、中学校の教員が小学校で、小学校の教員が中学校でそれぞれ指導可能な教科などを指導する取り組みです。市では小中一貫教育の効果をより発揮できる指導体制を構築するため、市独自で任用する「コネクト支援教員」を各学園の中学校に配置することで、コネクト教員（中学校の教員）が小学校で授業を行う乗り入れ指導を計画的に実施しています。

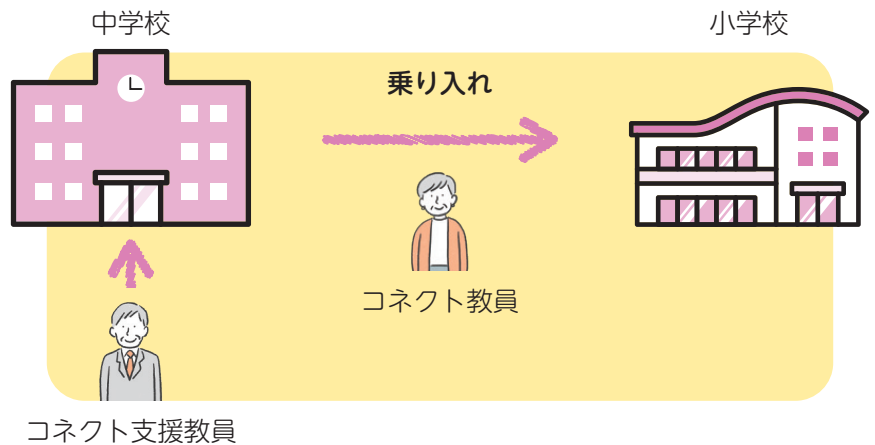
乗り入れ指導を推進することで、小・中学校の教員による協働した指導や児童生徒の個に応じた学習指導、9年間を見通した指導を充実させ、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばしていきます。

### コネクト教員

学園内の小学校で、乗り入れ指導する中学校の教員

### コネクト支援教員

コネクト教員が小学校で乗り入れ指導を実施している間、中学校で授業を行う教員



## ✓ 乗り入れ指導の現場に立つ先生たちの声

### 小学校での学びを生かした授業へ



志木中学校  
おおふら こうへい  
大淵 浩平 先生 (数学)

中学校の教員として小学校で乗り入れ指導を行ったことで、子どもたちの学びの過程をより具体的に理解できるようになりました。これまで中学校では、入学後の子どもたちの姿から指導方法を考えることが多くありましたが、小学校での学習の様子や考え方を直接把握することで、子どもたちがどのような経験を積み重ねて進学してくるのかを実感しました。

この経験から、中学校での指導においても、小学校での学びを踏まえた9年間の連続した授業づくりを心がけるようになりました。

また、小学生にとっても中学校の教員と関わる機会が生まれたことで、進学への不安が和らぎ、中学校生活への見通しをもつ姿が見受けられることから、引き続き小・中学校の学びをつなぐ取り組みを進めていきます。

### 安心した学校生活のために

これまで小学校の特別支援学級で社会科の授業を行うとともに、小学校の教員とチームティーチングに取り組んできたほか、保護者懇談会に参加し、中学校生活の紹介や中学校卒業後の進路相談に携わってきました。

また、特別支援学級の児童生徒は、環境の変化に不安を感じやすい傾向があることから、小学校への乗り入れ指導を通して、中学校の教員と小学校の教員が一人ひとりに応じた最適な学習環境について相互理解を深めてきました。さらに保護者とも9年間を見通した視点で情報共有を行い、児童生徒の環境変化への不安を軽減する実践を進めてきました。

今後も、義務教育学校の開校に向け、より一層児童生徒をつなぐ取り組みを推進し、9年間安心して学習できる環境を整えていきます。



志木第二中学校  
なかそね けんた  
中曽根 拳太 先生 (社会)

## 音楽で実感する9年間のつながり

小学校の音楽の授業に携わる中で、9年間の学びのつながりを強く意識するようになりました。小学校の学習内容が中学校でどのように生かされるのかを具体的に把握することで、児童生徒への指導の方向性が明確になり、子どもたちの学習に向かう意識も前向きになってきたと感じます。

令和7年度の中学1・2年生は、小学校段階から中学校の教員による乗り入れ指導を受けてきた生徒たちです。そのため、中学校での学習にもスムーズに取り組むことができ、発展的な学びへとつながっています。

今年度も引き続き、小学校の音楽担当や担任の先生と連携しながら、児童生徒の未来につながる音楽教育に努めていきます。



宗岡中学校  
村上 沙織 先生 (音楽)

## 家庭科で育む自立の基礎



宗岡第二中学校  
米屋 輝葉 先生 (家庭科)

授業では、生涯にわたり健康で豊かな生活を送るための「自立の基礎」を育むことを大切にしています。小学校では、家族に支えられる存在から、家族の一員として主体的に改善・工夫しようとする姿勢への転換を目指しています。中学校では、自分を客観的に捉え、家族や地域との関わりを見つめながら、社会的な視点で生活に向き合う力を養います。

こうした小・中学校の学びをつなぐため、今年度は小学校の教員と教材を共有し、ワークシートを作成するとともに、実習時の安全で効果的な学習方法など、指導の重点についても共有しました。

発達の段階や子どもたちの実態を踏まえ、生活に根差した家庭科の学びを通して、9年間の義務教育で身に付けてほしい力を意識した授業づくりに取り組んでいきます。

## 義務教育学校開校に向けて

令和8年3月の志木市議会定例会において、義務教育学校の設置に関する条例の一部改正が認められました。これに伴い、志木第二小学校・志木第四小学校・志木第二中学校の3校は、令和9年4月に本市初の義務教育学校「志木の森学園」として開校します。

既存の3つの学校の校舎・体育館・運動場を活用し、小中一貫教育の効果をより発揮できる教育環境とします。

また、中央校舎と東校舎をつなぐ「コミュニティウォーク（渡り廊下）」を新たに1階に設置します。



▲市ホームページ



▲イメージ図

### 西エリア

- 自習スペース、部活動スペースのほか、教育サポートセンターの分室などを設置します。

(現 志木第四小学校)

### 中央エリア

- 6～9年生の日常的な教育活動の場とします。
- 1～9年生の教職員が使用する職員室、校長室などを配置します。

(現 志木第二中学校)

### 東エリア

- 1～5年生の日常的な教育活動の場とします。
- 東エリアの統括管理職や事務職員スペースとなる総合事務室などを配置します。

(現 志木第二小学校)

↑  
コミュニティウォーク